

## 令和4年度(2022) 九州考古学会 プログラム

日時：2022年11月26日(土) 1日目 13:00～15:20

企画「コロナ禍における考古学教育と博物館活動」

15:30～16:50 研究発表

17:00～18:00 総会

11月27日(日) 2日目 9:30～18:00 研究発表・ポスター発表

会場：九州大学伊都キャンパスイースト1号館 B-112 教室

### 【11月26日(土) 1日目】

12:30～ 受付・オンライン接続開始

12:50～ 開会式

### ★企画「コロナ禍における考古学教育と博物館活動」

13:00～13:25 K1 新型コロナ禍の熊本大学考古学研究室における2021・2022年度発掘調査実習

熊本大学考古学研究室(責任者：久保田慎二)

13:25～13:50 K2 新型コロナ禍の沖縄国際大学考古学研究室における2022年度発掘調査実習

沖縄国際大学考古学研究室(責任者：新里貴之・宮城弘樹)

13:50～14:15 K3 コロナ禍における博物館の情報発信とは? ～下関市立考古博物館の取り組み～

下関市立考古博物館(中山元智)

14:15～14:40 K4 市民ミュージアム 大野城心のふるさと館における「おうちミュージアム」のあゆみ

市民ミュージアム 大野城心のふるさと館(龍友紀)

14:40～14:50 休憩

14:50～15:30 シンポジウム

15:20～15:30 休憩

### ★研究発表

15:30～16:10 ①ゲノムからみた弥生時代人の多様性

藤尾慎一郎・篠田謙一

16:10～16:50 ②西新町遺跡出土の“板石硯”とされる資料について

古澤義久・村田裕一・足立達朗・武末純一

★総会

17：00～18：00 総会

【11月27日（日）2日目】

- 9：00～ 受付・オンライン接続開始
- 9：20～9：30 開会 事務連絡
- 9：30～10：10 ③原遺跡1次調査の発掘調査成果  
熊埜御堂早和子
- 10：10～10：50 ④古墳時代の大分  
高橋徹
- 10：50～11：30 ⑤律令国家形成期における須恵器生産体制：6世紀後半から8世紀初頭  
にかけての北部九州の諸窯跡群を対象に  
足達悠紀
- 11：30～12：00 ポスターセッションコアタイム  
オンライン発表5分、その後リアル会場対応
- 12：00～13：00 昼休み
- 13：00～13：40 ⑥千々石ミゲル夫妻墓所の調査  
田中裕介
- 13：40～14：20 ⑦五島列島の潜伏キリシタン墓の調査の成果と課題  
野村俊之・加藤久雄・美濃口雅朗
- 14：20～14：30 休憩
- 14：30～15：10 ⑧小口径ボーリングに基づく三重津海軍所遺跡の調査  
下山正一・中野充
- 15：10～15：50 ⑨三重津海軍所跡のドライドックと運用方法の復元  
中野充・下山正一
- 15：50～16：30 ⑩特殊な標柱―長崎要塞地帯標柱2例から―  
東貴之
- 16：30～ 閉会式

★ポスター発表

- コアタイム 11：30～11：40 オンライン発表 11：40～質疑応答(会場のみ)
- 11：30～11：35 P1 日本の柄鏡出現期におけるインドネシア柄鏡の影響  
高尾将矢
- 11：35～11：40 P2 石川県古墳時代終末期における岩出横穴墓出土人骨の古代ゲノム解析  
覚張隆史・岡崎健治
- 11：40～12：00 会場参加者を対象に質疑応答